

8 地域の防災活動に参加する

1 自主防災組織は、どうして必要なのか？

「公助」が間に合わない場面がある

- 広域的に災害が発生した場合、要救助現場が各地で発生したり、交通網が寸断されたりして、消防隊員や市町村職員などがすぐに災害現場に到着できない状況が考えられます。
- このようなとき、負傷者の救助・応急手当をしたり、火災を消し止めたりするのは、その現場の近くにいる家族や隣近所の人たちなのです。



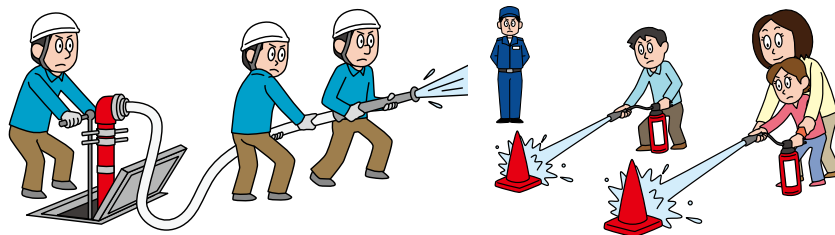
「地域の力」で助け合う

- 災害時に隣近所で助け合えるようにするためには、その地域で自主防災組織を結成して、日頃から「地域の力」を養っておく必要があります。
- 住んでいる地域の人たちと顔見知りになっておきましょう。そのためにも、自主防災組織（自治会・町内会など）に加入し、その活動に参加しましょう。
- 自分たちの住んでいる地域を見て回しましょう。そして、そのときに気づいた危険箇所や気をつけるべきことを地図上に書き込みます。これが「防災マップ」です。防災マップは、平常時及び災害時に自主防災組織が活動する上で、重要なツールとなります。



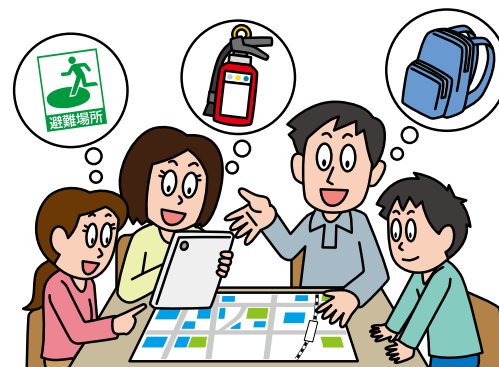
防災訓練の重要性

- 普段からやっていないことを、災害発生の混乱状態の中でいきなりやろうとしても、できるものではありません。
- 災害時に大切な人の命を救えるようになるために、防災訓練に参加して、そのやり方を身につけておきましょう。



家族で防災訓練に参加を

- 自主防災組織が行う防災訓練に、家族で参加してみましょう。地域の人たちと一緒に訓練に取り組むことで、互いに助け合うきっかけが生まれます。
- 訓練が終わって家に帰ったら、それぞれが思ったことを家族で話し合しましょう。災害への備えが、さらに確実なものとなるはずです。



2 「県政出前講座」では、どんなことが学べるのか？

知っておきたい『防災知識』を楽しく学んでいただくため、県職員が皆さんのもとへお伺いして、講座を開催します。

- 講座の開催は無料！
- 時間は1～2時間程度で、土日、祝日の開催も可能です。

詳しくは、長野県ホームページで確認！

長野県HP 長野県政出前講座
「地域の防災力をアップしよう！」

<https://www.pref.nagano.lg.jp/bosai/kurashi/shobo/bosai/bosai/demaekouza.html>



防災講座



地震や風水害への備え、自主防災組織など、防災に関することについて分かりやすく解説します。自分自身を守る「自助」や、地域を協力し守る「共助」について、考えるきっかけにされます。

災害図上ゲーム DIG



地域の地図を囲み、参加者で協力して防災マップを作成します。地域内の身の回りの「危険」や「弱み」を共有することで、日頃からの災害に対する備えや避難に役立ちます。

避難所運営ゲーム HUG



避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図に配置します。避難所運営を疑似体験し、判断しながら、住民による適切な避難所運営を考えてもらいます。

災害クロスロード



災害発生時に、重大な決断をしなければならない場面を想定し、そのときの対応をYESかNOで答えます。参加者が、災害時の対応を自らの問題として考えることができます。

目黒巻き・マイタイムライン



地震発生時や台風接近時の風水害が起こる可能性があるときの、自分自身の防災行動を整理・イメージすることにより、現時点での問題点などを発見し、解決策を考えてもらいます。

ぼうさいダック



幼児を対象に、カードに描かれた絵から、防災の「ファースト・ムーブ」を教えます。身体を動かしたり声を出したりしながら、楽しく防災の第一歩を学ぶことが可能です。

防災ダックのまとめ

2014年11月22日に発生した神城断層地震では、白馬村を中心に80棟以上の家屋が全壊するなど、大きな被害となった。ただ、住民らによる迅速な安否確認と的確な救助活動の結果、1人の犠牲者も出さなかったため、「白馬の奇跡」と呼ばれている。

防災には、地域の絆がとても大切なんだ。

